

日本地衣学会

No.69

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	大会案内	243
	日本地衣学会第5回大会報告／高橋邦夫	243

大会報告

日本地衣学会第5回大会報告

Report of the 5th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology

高橋邦夫：大会実行委員長（明治薬科大学）

7月8～9日に明治薬科大学剛堂会館（東京都千代田区）講義室において、日本地衣学会第5回大会および公開シンポジウムを開催した。参加者は一般会員27名、学生会員8名、海外会員2名、非会員6名の計43名であった。大会初日の8日午後に総会が開かれた。明治薬科大学薬学部の高橋が議長に選出され、山本会長の挨拶があった。小峰庶務幹事より2005年度活動報告および2006年度事業計画遂行状況の説明があった。その後、いくつかの報告・協議事項の説明があり、その中に第6回大会の開催地（大阪）の報告などがあった。又、David John Galloway氏、Chicita F. Culberson氏、Dharani Dhar Awasthi氏の3名が名誉会員として承認された。

総会に引き続き、「菌類代謝産物の科学」と題して公開シンポジウムが開催された（図1）。なお、シンポジウムのテーマの選定は開催地での提案として高橋が行った。初めに河合賢一氏（星薬科大）が「子囊菌の代謝産物について—*Emericella* 属菌を中心に—」と題し地衣成分との共通性を交えて講演した。次に、石橋正巳氏（千葉大院薬）が「変形菌からの生物活性天然物の探索」について培養と天然変形菌代謝産物の違いなどについて講

演した。木下 薫氏（明治薬大）が「地衣二次代謝産物の生物活性」について民間薬としての使用と現代の生物活性との関わりなどについて薬学の立場から講演した。シンポジウムのメとして吉村 庸氏（服部植物研・高知）が「ジヨウゴケの化学分類学」について成分の検出限度と分類について講演した。地衣とは異なる分野からのシンポジウム講演を快く引き受け、興味深いお話をいただいた河合氏、石橋氏に感謝申し上げる。

シンポジウム終了後、剛堂会館会議室で懇親会が開かれた。40名近い参加があり活発なディスカッションを交えた楽しい雰囲気となった。今回は韓国から Hur Jae-Seoun氏（Sunchon National University）と学生2名、またタイより Ek Sangvichien氏（Ramkhamhaeng Univ.）が参加しており、お寿司など食べながら国際交流を楽しんでいた。

翌日の午前には研究発表が口頭形式で行われた。中味は初めは化学分類、形態分類及び遺伝子解析、日本の地衣類の分布調査など10演題が発表された。

今回初めての試みとして、一般発表の中にミニシンポジウムを午後の一般発表の前に開催した（図2）。オーガナイザーの山本好和氏が「培養地衣菌の科学」の趣旨説



図1. シンポジウムの様子 (E) と演者の河合賢一(A), 石橋正己 (B), 吉村庸 (C), 木下薫 (D) の各氏. 写真撮影: 原田 浩.

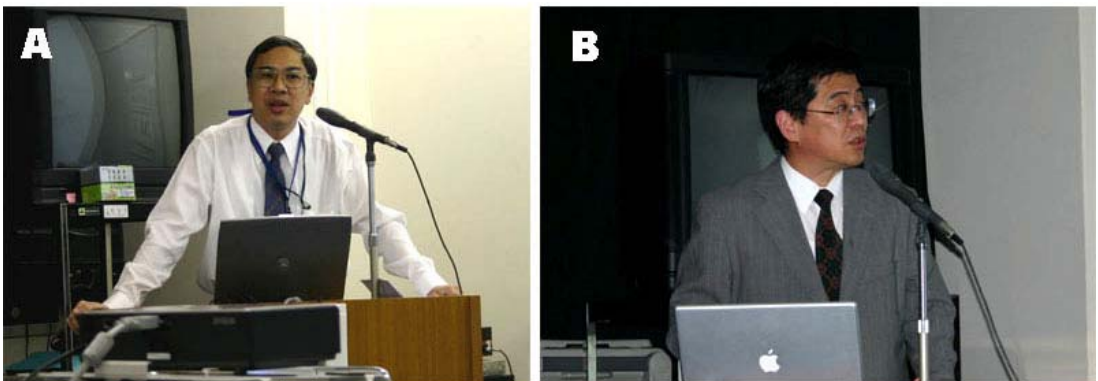


図2. ミニシンポジウムの演者, Ek Sangvichien 氏(A)と棚橋孝雄氏 (B). 撮影: 原田 浩.



図3. スライドショーの様子. 写真撮影: 原田 浩.

明を行った. そして, Ek Sangvichien 氏が「Growing tropical lichen mycobionts」という題で地衣菌の培養について, 棚橋孝雄氏(神戸薬大)が「培養地衣菌の二次代謝産物」という題で数多くの培養地衣菌から得られた化合物について生合成を交えて講演された. コーヒーブレイクの後一般講演(午後の部)が行われた. 地衣類の再生, 乾燥耐性, 地衣菌による化合物の変換, 抗腫瘍活性および *Lethariella* の赤色色素の計5演題が発表された.

学会の最後に, 関西大学工学部の河原秀久氏が次回開催の案内を挨拶され, 来年の第6回大会(大阪)での再開を約束して解散となった.

今回の大会では大会初日より安齊氏, 川又氏, 原田氏による美しい地衣類のスライドショーを3つのスクリーンに同時に投影し(図3), 好評を博した. また, 壁には地衣類の写真などを大型にプリントしたものを展示した.

今回も参加者全員が活発な討論をし合い, 又, 情報交換を行い大変有意義なものとなった. このように大会を成功に治めることが出来たのは参加者全員のおかげであると感じている. 原田氏にはプログラムの作成ならば

に写真撮影で大変お世話になった. 又, スライドショーをしていただいた各氏にお礼申し上げる. 最後に, 大会の準備および当日のサポートを行った明治薬科大学生薬学教室の大学院生ならびに卒論研究生に感謝したい.

プログラム

7.8 (土)

10:00-12:00 評議員会

12:40-14:40 日本地衣学会総会

14:50-15:00 山本好和会長挨拶

15:00-17:45 **公開シンポジウム 「菌類代謝産物の科**

学」／オーガナイザー 高橋邦夫

子囊菌の代謝産物について —*Emericella* 属菌を中心に—／河合賢一(星薬大)／座長 木下 薫(明治薬大)

変形菌からの生物活性天然物の探索／石橋正己(千葉大院薬)／座長 小山清隆(明治薬大)

地衣二次代謝産物の生物活性／木下 薫(明治薬大)／座長 棚橋孝雄(神戸薬大)

ジョウゴゴケの化学分類学／吉村 庸(服部植物研・高知)／座長 高橋邦夫(明治薬大)

総合討論／座長 棚橋孝雄, 高橋邦夫

18:00-19:45 懇親会／会議室

7.9 (日)

9:30-12:15 一般講演 (午前の部)

- A1) 日本産レブラゴケ属 (*Lepraria*) の化学成分 / ○岡本達哉, 中永治美, 武田祐輔 (高知大・理・自然環境) 松本達雄 (武田高)
- A2) 丹沢で採集されたヨロイゴケ属の一種について / ○高橋奏恵 1, 木下靖浩 2, 原田 浩 3 (1 秋田県大・生物資源, 2 日本ペイント, 3 千葉県中央博)
- A3) 東アジア産淡水生アナイボゴケ科地衣類の分類学的検討 (3) 中国雲南省における調査結果 / ○原田浩 (千葉県中央博)
- A4) Taxonomic study on the lichen Genus *Anzia* from Yunnan / ○Xiao Y.-Q.1,2, Oh S.-O.1,2, Wang L.-S.1, Lim K.-M.2. and Hur J.-S.2 (1 Kunming Institute of Botany, China; 2 Korean Lichen Research Institute, Suncheon Natl. Univ., Korea) 原光二郎 (秋田県大・生物資源)
- A5) A study on genetic variation analysis of lichenized fungi of *Parmelia laevior* using RADP markers / ○Lim K.-M., Koh Y.J. and Hur J.-S. (Korean Lichen Research Institute, Suncheon Natl. Univ., Korea)
- A6) Lichen flora around Korean Antarctic Scientific Station, King George Island, Antarctica / Kim J.H.1, Ahn I.-Y.1, Hong S.G.1, Andreev M.2, Lim K.-M.3, Koh Y.J.3 and OHur J.-S.3 (1 Korea Polar Research Institute (KOPRI), Korea; 2 Komarov Botanical Institute, Russia; 3 Korean Lichen Research Institute, Suncheon Natl. Univ., Korea) 高橋奏恵 (秋田県大・生物資源)
- A7) ヤンバルの Thelotremaaceae / ○松本達雄 1, 原田 浩 2, 山本好和 3, 佐藤大樹 4 (1 武田高, 2 千葉県中央博, 3 秋田県大・生物資源, 4 森林総研九州)
- A8) 丹沢・大山 (神奈川県) の地衣—その 2 イコマゴケモドキ *Hypotrachyna incognita* について / ○木下靖浩 1, 原田 浩 2 (1 日本ペイント, 2 千葉県

中央博) 岡本達哉 (高知大・理・自然環境)

A9) ツブミゴケ *Gymnoderma insulare* Sharp & Yoshim. の新産地と生育環境 / ○川又 明德 1, 吉村庸 2, 原田 浩 3 (1 愛媛県総合科博, 2 服部植物研・高知, 3 千葉県中央博)

A10) 日本産地衣類の分布調査 / ○山本好和 1, 安齊唯夫 2, 坂東 誠 3, 木下靖浩 4, 高萩敏和 5, 小林寿宣 6 (1 秋田県大・生物資源, 2 ゼルグブランニング, 3 池田市, 4 日本ペイント, 5 八尾市, 6 福島県船引町)

13:30-14:30 ミニシンポジウム「培養地衣菌の科学」

／オーガナイザー 山本好和 (秋田県大・生物資源)
Growing tropical lichen mycobionts / Ek Sangvichien (Ramkhamhaeng University, Thailand) / 座長 山本好和 (秋田県大)
培養地衣菌の二次代謝産物 / 棚橋孝雄 (神戸薬大) / 座長 高橋邦夫 (明治薬大)

14:45-16:00 一般講演 (午後の部)

- B1) 地衣類の人工栽培 4—地衣類の小片からの再生 / ○佐藤穂高, 小野静佳, 小峰正史, 原 光二郎, 山本好和 (秋田県大・生物資源) 木下靖浩 (日本ペイント)
- B2) 地衣類の抗腫瘍活性 / ○小原知久, 原 光二郎, 小峰正史, 吉澤結子, 山本好和 (秋田県大・生物資源)
- B3) 共生藻トレブクシアにおける乾燥耐性の研究 / ○小杉真貴子, 静間涼子, 森山裕布, 菓子野康浩, 小池裕幸, 佐藤和彦 (兵庫県大院・生命理学研)
- B4) 地衣菌によるフルオロ化合物の変換 / ○田中理恵 1, 遠藤美紀 1, 原 光二郎 1, 小峰正史 1, 山本好和 1, 中村 薫 2 (1 秋田県大・生物資源, 2 京都大化研) 棚橋孝雄 (神戸薬大)
- B5) 地衣およびその共生藻の乾燥耐性の比較 / ○木下薫 1, 成井孝雄 1, 小山清隆 1, 高橋邦夫 1, Wang Lisong 2 (1 明治薬大, 2 中国科学院 昆明植物研)

16:00-16:10 次回開催者挨拶

閉会の辞 山本好和会長

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌62号222ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 62, p. 222 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 69号

発行日: 2006年 8月 21日

編集: 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所: 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内